

# 関係法令等における発注者の主な役割（品確法関係）：未定稿

参考3

（官庁営繕部において主なものを抜粋して作成（法・基本方針・運用指針に重複するものは上位の欄に記載））

	公共工事の品質確保の促進に関する法律 （平成17年法律第18号、最終改正平成26年6月4日）	公共工事の品質確保の促進に関する施策を 総合的に推進するための基本的な方針 （平成17年8月26日閣議決定、平成26年9月30日最終変更）	発注関係事務の運用に関する指針 （平成27年1月30日公共工事の品質確保の促進に関する 関係省庁連絡会議申合せ）
品	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事成績の相互利用のための評価の標準化・データベースの整備（7条2項）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術検査の実施</li> <li>成績評定の要領や技術基準の策定</li> <li>監督の適切な実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低入札の場合は、重点的な監督体制を整備する等の対策を実施</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争参加者の技術的能力（工事経験・施工状況の評価、配置予定技術者の経験等の評価）の審査（12条）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な施工能力・実績等を評価</li> <li>成績評定の活用等による施工能力のない建設業者の排除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能労働者の技能を評価項目に設定</li> <li>若手や女性の登用を考慮</li> </ul>
質	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争参加者に対する技術提案を求めるように努めること（15条1項）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注する工事の内容に照らし技術提案を求めるよう努める</li> <li>事前に提示した定量的又は定性的な評価基準及び得点配分に従い評価を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一括審査方式、施工能力評価型の活用による競争参加者の負担軽減</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な発注、適切な工期設定（7条1項4号）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>債務負担行為の活用等による発注・施工時期の平準化等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初からの予算執行の徹底等の予算執行上の工夫</li> <li>余裕期間の設定等の契約上の工夫</li> <li>週休2日の確保等による不稼働日等を踏まえた適切な工期設定</li> </ul>
工	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な利潤が確保できるよう、市場における労務、資材等の取引価格、施工実態等を的確に反映した予定価格の適正な設定（7条1項1号）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩切りの禁止等</li> <li>適正な予定価格を定めるための積算基準の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算に当たっては、適正な工期を前提とし、最新の積算基準を適用</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>不調・不落等の場合等における適正な予定価格の設定（7条1項2号）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な予定価格の設定を図り、できる限り速やかに契約締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準積算と現場の施工実態の乖離が想定される場合、数量、施工条件や工期等の見直し</li> </ul>
コ	<ul style="list-style-type: none"> <li>低入札価格調査基準や最低制限価格の設定（7条1項3号）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>予定価格は原則事後公表</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な施工条件の明示、適切な設計変更、必要に応じ、請負代金額の変更、工期の変更（7条1項5号）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>設計変更が可能な場合の例、工事一時中止が必要な場合の例、手続きの例等についてとりまとめ</li> </ul>
ス	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注関係事務を適切に実施するため職員の配置等体制の整備、発注者間の連携の推進（7条3項）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術提案の適切な審査・評価、監督・検査、成績評定の標準的な方法や留意事項をとりまとめた資料を作成、共有</li> <li>困難な発注者に対しては国等が支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要領・基準類等の標準化・共有化</li> <li>地域発注者協議会等を通じた各発注者の発注関係事務の実施状況等の把握</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注関係事務を適切に実施できない場合、外部の能力の活用（21条）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国等は、地方公共団体による適切に実施できる者の選定を支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援を必要とする発注者は、地域発注者協議会等を通じて国等に支援を求める</li> </ul>
ト			
発注者間の連携等			



# 関係法令等における発注者の主な役割（入契法関係）：未定稿

（官庁営繕部において主なものを抜粋して作成）

	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律 （平成12年法律第127号、最終改正平成26年6月4日）	公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針 （平成13年3月9日閣議決定、平成26年9月30日最終変更）
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な施工の確保（3条5項）</li> <li>施工体制と施工体制台帳の照合（16条）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工状況の評価（技術検査・工事成績評定の実施、工事成績評定要領の策定・公表・標準化、工事成績評定結果の通知・公表・相互利用）</li> <li>発注者・設計者・施工者の三者間の情報共有</li> <li>受発注者間の対等性の確保（適切な契約変更等）</li> <li>施工体制の把握の徹底（工事施工段階における監督・検査の確実な実施、監督・検査の基準の策定・公表、施工体制の活用等）</li> </ul>
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な施工が通常見込まれない契約締結の防止（3条4項）</li> <li>入札金額の内訳の内容の確認（13条）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定価格の適正な設定</li> <li>歩切りについては品確法に違反する旨を明記</li> <li>入札金額の内訳の確認</li> <li>低入札価格調査制度等の活用、低入札価格調査基準価格を下回る場合、重点的な監督・検査の実施、要領の作成・公表</li> <li>低入札価格調査制度又は最低制限価格制度の適切な活用の徹底</li> </ul>
透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札・契約の過程、契約の内容の透明性確保（3条1項）</li> <li>公共工事の発注の見通し、変更の公表（国：4条、地方：7条）</li> <li>公共工事の入札・契約の過程の公表（国：5条1項、地方：8条1項）</li> <li>公共工事の契約の内容の公表（国：5条2項、地方：8条2項）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発注者による施工能力の評点、順位及び等級区分の基準の公表</li> <li>予定価格及びその内訳の公表</li> <li>低入札価格調査基準価格、低入札調査の要領、結果等の公表</li> <li>競争入札に参加しようとした者、指名されなかった者の名称、指名されなかった理由の公表</li> <li>監督・検査基準、技術検査要領、工事成績評定要領の公表</li> <li>施工体制把握のための要領の公表</li> </ul>
公正な競争	<ul style="list-style-type: none"> <li>公正な競争の促進（3条2項）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般競争入札の適切な活用（メリットとデメリットを踏まえ対象工事の見直し等により適切に活用等）</li> <li>総合評価落札方式の適切な活用（工事の性格に等に応じ適切に活用、評価基準・実施要領の整備、総合評価の結果の公表・評価内容の通知等）</li> <li>段階選抜方式の活用等による受発注者双方の事務量の軽減</li> <li>適切な競争参加資格の設定（不良・不適格業者の排除、工事実績・工事成績等の活用、地域要件の設定等）</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>CM方式の活用・拡大等</li> <li>受託制度や外部機関の活用等</li> <li>発注者間の連携強化</li> </ul>



# 関係法令等における発注者の主な役割（契約書関係）：未定稿

（官庁営繕部において主なものを抜粋して作成）

工事請負契約書（国土交通省） （平成7年6月30日、最終改正平成27年5月28日）	
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約履行について指示等、施工図等の承諾等、工程管理、立会い、施工状況の検査、工事材料の試験・検査（9条）</li> <li>工事の完成検査の実施、検査結果の通知、工事目的物の引渡しを受けること（31条）</li> </ul>
	コ
ス	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計図書が不整合・誤謬・脱漏・不明確の場合、施工条件と現場の不一致の場合、予期できない施工条件の発生の場合、必要に応じ、設計図書・工期・請負代金額の訂正・変更（18条）</li> <li>用地未確保・天災・現場状態変動のため施工できない場合、工事の中止、工期・請負代金額の変更、中止に伴う増加費用・受注者の損害の負担（20条）</li> <li>受注者の請求による工期の延長、発注者の責による場合の請負代金額の変更（21条）</li> <li>賃金・物価変動に基づく請負代金額の変更（25条）</li> </ul>
	ト

建築設計業務委託契約書（国土交通省） （平成10年10月1日、最終改正平成27年3月9日）	
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>意図する成果物を完成させるための指示、設計仕様書等の記載内容に関する確認の申出等に対する回答等、協議、業務の進捗の確認、設計仕様書の記載内容と履行内容との照合、履行状況の調査（14条）</li> <li>業務の完了検査の実施、検査結果の通知、成果物の引渡しを受けること（31条）</li> <li>発注者の責による設計仕様書と業務内容の不適合の場合、必要に応じ、履行期間・業務委託料の変更、受注者の損害の負担（19条）</li> <li>設計仕様書が不整合・誤謬・脱漏・不明確の場合、履行条件が実際と不一致の場合、予期できない履行条件の発生の場合、必要に応じ、設計仕様書・履行期間・業務委託料の訂正・変更（20条）</li> <li>業務を中止させた場合、必要に応じ、履行期間・業務委託料の変更、受注者の増加費用・損害の負担（22条）</li> <li>受注者の請求による履行期間の延長、発注者の責による場合の業務委託料の変更（24条）</li> </ul>
	コ
	ス
	ト

建築工事監理業務委託契約書（国土交通省） （平成13年2月15日、最終改正平成27年3月9日）	
品質	<ul style="list-style-type: none"> <li>意図する業務を完了させるための指示、工事監理仕様書等の記載内容に関する確認の申出等に対する回答等、協議、業務の進捗の確認、工事監理仕様書の記載内容と履行内容との照合、履行状況の調査（8条）</li> <li>業務の完了検査の実施、検査結果の通知、業務報告書の引渡しを受けること（25条）</li> <li>発注者の責による工事監理仕様書と業務内容の不適合の場合、必要に応じ、履行期間・業務委託料の変更、受注者の損害の負担（13条）</li> <li>工事監理仕様書が不整合・誤謬・脱漏・不明確の場合、履行条件が実際と不一致の場合、予期できない履行条件の発生の場合、必要に応じ、工事監理仕様書・履行期間・業務委託料の訂正・変更（14条）</li> <li>業務を中止させた場合、必要に応じ、履行期間・業務委託料の変更、受注者の増加費用・損害の負担（16条）</li> <li>受注者の請求による履行期間の延長、発注者の責による場合の業務委託料の変更（18条）</li> </ul>
	コ
	ス
	ト